

サムエル記下9:1～13は、ダビデが、ヨナタンの子メピボセテに慈しみを示したことの記録です。

**A**ダビデはヨナタンのために、サウルの家に残っている子孫に慈しみを示すことが義務であると感じていました。彼はサウルの家の一のしもべに求めてこう言いました、「サウルの家のもので、まだだれかいるか？私はその者に神の慈しみを示したい」（サムエル記下9:3）。

**B**しもべがダビデに告げたのは、ヨナタンの子メピボセテがまだいて、彼は両足が不自由であったということです。**C**ダビデはメピボセテの父ヨナタンのために、メピボセテに慈しみを示すとメピボセテに告げ、そしてメピボセテの父祖の地をすべて彼に返し、彼がいつも王の食卓で食事をするようになることと約束しました。**D**ダビデ王はメピボセテの命を保護し、彼のすべての嗣業を彼に返し、ダビデと同じ宴席に彼を招きました。

サムエル下9:7 ダビデはメピボセテに言った、「恐れることはない。私は必ずあなたの父ヨナタンのために、あなたに慈しみを示す。あなたの父祖サウルの地をすべてあなたに返そう。あなたはいつも、私の食卓で食事をするように」。

**II**メピボセテは、恵みを受ける何の立場も持っていませんでしたが、それを受けました。私たちと神との間にも同じ事が言えます。

**A1**メピボセテが慈しみを受けたのは、自分自身のゆえにではなく、別の人ゆえにでした。**2**この事は、神の御前での罪人にも言えます。

ローマ2:4 それともあなたは、神の豊かな慈愛と寛容と辛抱強さを軽んじて、神の慈愛があなたを悔い改めに導いていることを知らないのですか？

**B**メピボセテが生活していた場所である「ロ・デバル」は、「草のない、牧草のない場所(どのような命の供給もない場所)」を意味するヘブル語です。今日のこの世は「ロ・デバル」です。

**2**神から遠く離れた罪人も、草のない場所で生活しています。**C**メピボセテはダビデを追い求めませんでした。ダビデは人を遣わしてメピボセテを連れて来させました。**D**ダビデが「メピボセテよ」と言ったとき、ダビデの心にはあわれみ深い感覚があり、彼の声には喜ばしい口調がありました。

**1**この言葉の根底には、神の心を表現した心がありました。サムエル上20:14 エホバの慈愛を私に示して、私が死ぬことのないようにしてください。**15** あなたの慈愛を私の家から永久に断ち切らないでください。**III**霊的に言って、私たちはみな、両足が不自由であった、サウル王の孫メピボセテのようです。**A**メピボセテはしばしば王と食事をしたが、彼の両足は不自由なままでした。**B**メピボセテはダビデから恵みを受けた後、ダビデの食卓の上にある豊富だけを見ました。メピボセテは食卓の下にある自分

の不自由な両足を見ませんでした。**C**私たちはメピボセテのように、なおも両足が不自由ですが、王の食卓で食事をすることができます。サムエル下9:13 メピボセテはエルサレムに住んだ。彼が常に王の食卓で食事をしたからである。彼は両足とも不自由であった。

**1**私たちの両足は不自由ですが、その両足は「食卓の下に」あります。**2a**私たちは自分自身を見るときはいつでも、自分の足が不自由であることを見だし、失望してしまいます。

**b**私たちは主の食卓の豊富だけを見て、それらを楽しむべきです。**3**神が私たちのために設けてくださったものは、すばらしく、豊富で、甘いのです。私たちはただ食べる必要があります。**D**私たちは自己内省から離れ去って、主をひたすら見つめる必要があります。

ヘブル12:2 私たちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめていなさい。彼はご自分の前に置かれた喜びのために、恥をいとわないで十字架を耐え忍び、そして神の御座の右に座しておられるのです。

**E**私たちは、神が私たちの前に設けてくださった豊富と恵みだけを見るとき、平安に満ちて、私たちの心は満足するようになります。**M**メピボセテに対するダビデの慈しみは、神の慈しみを表徴しています。

**A**慈しみ(慈愛)は、神のあわれみと愛から出てくる情け深い優しさです。**B**私たちの救い主・神の慈しみと愛によって、私たちは救われ、他の人たちと異なる者となりました。

**1**神の恵みは人に救いをもたらします。私たちは主の恵みによって救われました。**2**テトス3:5は、神が私たちを救ってくださったのは、彼のあわれみによると言っています。

**b**私たちのあわれな状態は、私たちと神の恵みとの間に広い溝を生じました。**c**この溝に橋を架け、私たちを神の恵みの救いにもたらしたのは、神のあわれみでした。

**3a**愛は恵みの源です。私たちは1ヨハネにおいて、恵みの源としての父なる神の愛に触れます。**b**父なる神の心には愛があります。この愛が御子を通して表現されるとき、恵みとなります。**c**慈しみは、神が私たちに恵みを与えるときの態度です。

**d**私たちは、あわれみ、愛、慈しみを持っているとき、自動的に恵みを持っています。**e**私たちの神また父は、愛、あわれみ、慈しみを私たちに示しています。彼はこの事によって、私たちを救っています。テトス3:4 しかし、私たちの救い主・神の慈しみと、人に対する彼の愛が現れた時、**5** 彼は私たちを救ってくださいました。それは、私たちが行なった義のわざによってではなく、彼のあわれみによってであり、再生の洗いと聖霊の更新を通してです。**C**来たるべき時代、すなわち、千年期の時代と未来の永遠において、神は「キリスト・イエスの中で、私たち

に対する慈愛(慈しみ)の中の彼の恵みの卓越した豊富を」(エペソ2:7) 展覧します: **1** 神の恵みは、神の慈しみ(慈愛)の中で私たちに与えられます。**D** その霊の實のうちの一つの項目は、慈しみ(親切)です: **コロサイ3:12** こういうわけで、神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、思いやりの心、慈愛、謙そん、柔和、辛抱強さを着なさい。 **2コリント6:4** あらゆることにおいて、神の奉仕者として自分自身を推薦しています。 **6** 純潔にも、...偽りのない愛にも。 **3** 愛は慈しみ(親切)です。私たちは互いに慈しみを示し(親切で)、情け深くあり、神がキリストにあって私たちに赦してくださったように、赦し合う必要があります。 **エペソ4:32** そして、互いに親切で情け深くあり、神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

**CP1** 神が人を訪れ恵みを与えるのは、人の行いによるのではなく、神のあわれみと慈しみのゆえである  
**1** メピボセテは、恵みを受ける何の立場も持っていませんでしたが、それを受けました。私たちと神との間にも同じ事が言えます:サムエル下9:3 王は言った、「サウルの家の者で、まだだれかいるか? 私はその者に神の慈しみを示したい」。**A1** 梅ピボセテが慈しみを受けたのは、自分自身のゆえにではなく、別の人ゆえにでした。**2** この事は、神の御前での罪人にも言えます。**B** 梅ピボセテが生活していた場所である「ロ・デバル」は、「草のない、牧草のない場所(どのような命の供給もない場所)」を意味するヘブル語です。今日のこの世は「ロ・デバル」です。**C** 梅ピボセテはダビデを追い求めませんでした、ダビデは人を遣わして梅ピボセテを連れて来させました。**D** ダビデが「梅ピボセテよ」と言ったとき、ダビデの心にはあわれみ深い感覚があり、彼の声には喜ばしい口調がありました。**1** この言葉の根底には、神の心を表現した心がありました。**サムエル上9:6** だビデは、「梅ピボセテよ」と言った。...**7** だビデは梅ピボセテに言った、「恐れることはない。私は必ずあなたの父ヨナタンのために、あなたに慈しみを示す。あなたの父祖サウルの地をすべてあなたに返そう。あなたはいつも、私の食卓で食事をするように」。**8** 「あなたのしもべがなんであるので、あなたは私のような死んだ犬を顧みられるのですか?」。**10** ...私の食卓で食事をするようになる。

多くの人は、「私は神を喜ばせることができる前に、善を行わなければならない」と考えています。しかし聖書は、神は「理由なしに」私たちに愛しておられると告げています。私たちは神の御前に何の地位もなく、彼の恵みを得るべきではありません。しかし、私たちのヨナタン、イエス・キリストがおられます。...私たちが救われるのは、神の御前に

主イエスを持っているからです。主があるので、私たちは神の御前に来ることができるのです。

メピボセテの側では、彼はあえて王を追い求めませんでした。なぜなら、彼の祖父が王の敵であったからです。さらに、彼は足が不自由であったので、王を追い求めることができませんでした。私たちはこう思うかもしれませんが、「おそらくある日、私はもっと良くなって、神を追い求め、私の罪を赦してくださるよう熱心に求めるであろう。おそらくそのとき、私は救われるであろう」。しかし、...聖書は、神があなたを欲し、あなたを召し、人を遣わして彼があなたを欲しておられることを告げると言っています。ローマ10:6と7は...だれも天に行って、主が自分のために死んでくださるようにと求めることはできず、だれもハデス[陰府]に下って、主に死から復活するよう求めることはできないことを告げています。次の節は言います、「『言葉はあなたに近い、あなたの口の中に、またあなたの心の中にある』。...なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです」(8、10)。...もしここに救われていない人がいるなら、それは神が彼を救わないからではなく、彼が神の恵みを拒絶するからです。

#### 適用:青少年、大学生、新人編

**証** 私は教会の集会に来て主イエスに出会い救われる前、主のもとに来るためには「自分が良くなってからでなければならぬ」と考えていました。しかし驚いたことに、私がありのまま教会の集会に来た時、主イエスは私を訪れてくださいました。三つの和室6畳の部屋を一緒にして、兄弟姉妹が座って集会していた場所に入った瞬間に、主は私を訪れました。彼らが大声で賛美し、喜びに満たされ輝いた顔をしているのを見た時、光が私の内に入って来ました。私はその瞬間に救われました。集会に行く前、私は色々な宗教的な質問を考えていましたが、その瞬間にすべての質問は吹き飛ばされ、警戒心の強い私は、おそらく初めて心を開きました。その後集会で何を話していたのか、全く覚えていませんが、「兄弟姉妹たちの喜びと輝きに満ちた顔」、「それを見た瞬間に私の心がほんの少し主に開かれ」、「同時に光が私の中に入って来た」ことははっきりと覚えています。主は慈しみに富んでおられ、私が彼に閉ざしていてもなお、私を愛し、私を訪れてくださいました。 **エペソ2:1** ところであなたがたは、自分の違犯と罪の中に死んでいて、**2** かつてはそれらの中で、この世の時代に流され、空中の権威の支配者、すなわち不従順の子らの中に今も活動している霊の支配者にしたがって、歩いていました。**3** 私たちもみな、かつては彼らの間で、自分の肉の欲の中で振る舞い、肉と思いの望むままを行なっ

ていたものであり、ほかの人たちと同じように、生まれながら激怒の子でした。4 しかし、あわれみに富んでおられる神は、私たちが愛してくださった彼の大きな愛のゆえに、5 私たちが違犯の中で死んでいた時、私たちがキリストと共に生かし(あなたがたが救われたのは、恵みによるのです)、7 それは神が、キリスト・イエスの中で、私たちに対する慈愛の中の彼の恵みの卓越した豊富を、来たるべき時代において展覧するためでした。8 なぜなら、あなたがたが救われたのは、恵みにより、信仰を通してであって、これは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物であるからです。9 それは行ないによるものではありません。だれも誇るべきことがないためです。

それまで、私は長い間下っていくGoing downの人生を過ごしており、そのことで大変悩んでいましたがどうすることもできませんでした。しかし、主が私の中に入って来た時から上っていくGoing upに反転する生活が始まったことをはっきりと証しできます。もちろん、救われた後も弱くなり下ることが度々あり、「上がったたり下がったり」を経験しましたが、俯瞰的に見ると、上がり続けています。内側のキリストは、私の人生のGoing upの原動力です。  
ピリピ4:13 私は、私を力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです。

I am able to do all things in Him who empowers me. 主の憐れみが神から遠く離れていた私に届きました。主に感謝賛美します! **祈り** おお主イエスよ、あなたのあわれみ、慈しみに感謝します。私は罪人であり、神の御前に何の地位もなく、あなたの恵みを得るべきものは何もない者でした。しかし、あなたは、「理由なく」私を愛し、私を訪れ、恵みを与えてくださいました。私はあなたを追い求めませんでしたが、あなたはあわれみをもって私を慈しみ、訪れ、救ってくださいました。主に感謝します!

**CP2** 互いに慈しみあい、神がキリストにあって私たちが赦してくださったように、赦し合う必要がある

**M** メピボセテに対するダビデの慈しみを表徴しています。 **C** 来たるべき時代、すなわち、千年期の時代と未来の永遠において、神は「キリスト・イエスの中で、私たちに対する慈愛(慈しみ)の中の彼の恵みの卓越した豊富を」(エペソ2:7)展覧します。**1** 神の恵みは、神の慈しみ(慈愛)の中で私たちに与えられます。**D** その霊の実のうちの一つの項目は、慈しみ(親切)です。**1** 私たちは新しい人を着たので、神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、思いやりの心と慈しみ(慈愛)を着る必要があります。コロサイ3:12 こういうわけで、神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、思いやりの心、慈愛、謙そん、柔和、辛抱強さを着なさい。

**2** 使徒パウロは慈しみ(親切さ)の中にある神の奉仕者でした。そして彼は私たちに、神の慈しみ(慈愛)の中にとどまり続けるように命じました。2コリント6:4 あらゆることにおいて、神の奉仕者として自分自身を推薦しています。すなわち、多くの忍耐にも、患難にも、窮乏にも、行き詰まりにも、**6** 純潔にも、知識にも、辛抱強さにも、親切にも、聖い霊にも、偽りのない愛にも、ローマ11:22 ですから、神の慈愛と厳しさを見なさい。倒れた者の上には厳しさがありますが、あなたの上には神の慈愛があります。ただあなたは、神の慈愛の中にとどまり続けなさい。そうでないと、あなたも切り離されるでしょう。

**3** 愛は慈しみ(親切)です。私たちは互いに慈しみを示し(親切で)、情け深くあり、神がキリストにあって私たちが赦してくださったように、赦し合う必要があります。1コリント13:4 愛は辛抱強く、愛は親切で、ねたみません。愛は誇るべきことがなく、思い上がることもありません。エペソ4:32 そして、互いに親切で情け深くあり、神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

私たちはかつて、神に反対し、この世の時代に流され、空中の権威の支配者としてのサタンにしたがって歩いていました。さらに、私たちはまたかつては肉の欲の中で振る舞い、神の御前に激怒の子でした。しかし、あわれみに富んでおられる神は、私たちが愛してくださった彼の大きな愛のゆえに、私たちに対して慈しみ(慈愛)に満ちていました。神は厳格な威厳ある神ですが、私たちを見捨てず、むしろ私たちがあわれんでくださいました。彼はあわれみと愛をもっているのです。私たちに対して慈しみがあり、すなわち、私たちに対して寛大で、善で、情け深いのです。私たちに対する神の慈しみは彼の愛にしたがっており、彼のあわれみのゆえです。彼はこの慈しみの中で、彼の恵みの豊富を私たちに与えてくださいます。

私たちの命の供給としての、また私たちの喜びとしてのキリストに対する享受だけが、私たちの心を柔らかくすることができます。私たちが情け深いなら、人を赦すでしょう。私たちは日常の歩みの中で、人を赦すことと、人に赦してもらうことの両方を必要とします。これが必要であるのは、私たちは容易に人を怒り、また容易に人を怒らせるからです。もし私たちがだれかを怒らせるなら、赦しを求める必要があります。しかし、もし私たちが人に怒らせられたなら、神がキリストにあって私たちが赦してくださったように、他の人に赦しを与える必要があります。

使徒は、この区分における彼の勧告の中で、神を私たちの日常生活の模範として示しています。

神の命によって、彼の霊の中で、私たちは神が赦してくださったように、赦すことができます。

### 適用:ビジネスパーソン、大学院生編

**証** 会社の役員会議で、ある社歴の長い二人の役員がいつも互いに言い争っていました。一人が提案すると他者が激しく反対していました。私は不思議に思い、別の社歴の長い役員にその理由を尋ねてみると、「約30年前の入社当時にあった両者のいざこざがあり、その後ずっと彼らは互いに赦せない感情を持っている」とのことでした。

私はこの二人に呆れただけでなく、その状態を仕方がない状態として受け入れている他の役員たちにも呆れました。そして、私たち日本人は勤勉に働くことや細かい作業を得意とする美德を持っている反面、細かいので様々な小さいことを覚えていて、なかなか人を赦せない傾向があることを再認識しました。また、私が召会生活のおかげで、私の心が少し広げられることに気付き、主に感謝しました。

召会生活の福音と牧養において、私はよく、「この人はあまり良くない」と感じ、福音と牧養を継続したくなくなることを経験しました。しかしそのような時、「自分が求めていたわけでもないのに、主の憐れみを受け救われた」ことを思い出し、次のように祈っています、「おお主イエスよ、私はこの新人を牧養することで嫌になっています。しかし、私の救いについての神の憐れみと慈しみを思い出します。私はあなたの無限の愛に触れて牧養したいです。そして、私が自分に従ってではなく、神に従って新人を牧養することができますように」。このように祈ると、神の愛に触れ、感動して、自分の感覚に従ってではなく、神に従って継続して牧養することができるようになりました。

### 詩歌24 神の大なる愛

神の大なる愛、言葉に言い得じ、  
星座よりなお高く、よみよりも深し。  
罪に恐れ、こころ悔いる者らを、  
御子の救いにより、神むかえたもう。  
豊かな神の愛、測るすべなし。  
御使い聖徒らも、とわにぞ、歌わん。

**祈り** おお主イエスよ、神に反対し、この世の時代に流され、肉の欲の中で振る舞っていた私を、神は愛し、赦してくださいました。主は慈しみの中で、彼の恵みの豊富を与えてくださっています。ですから私も、神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、思いやりの心、慈愛、謙そん、柔和、辛抱強さを着る必要があります。神の慈愛の中にとどまり続け、神が赦してくださったように、人を赦すことを訓練します。アーメン!

### 【神戸に在る召会交わりと報告】

#### 1. 5/3-5で行われたリジョイスガーデンブレンディングが祝福されました:

- (a) 青少年、ビジネスパーソンのブレンディングが祝福された!
- (b) YP地区 西川夏希Sがバプテスマ!
- (c) 夙川地区 村田圭士郎Bがバプテスマ!
- (d) 特に夙川地区から多くの親子が参加!
- (e) 斉野平弘子S, 和田幸子Sも参加!
- (f) その他多くの新人が参加できた!
- (g) 今の時期から12月初旬までが、ブレンディングに良い時期なので、今後頻繁に利用しましょう!

#### 2. 祈り集会追求内容について:

- (a) 特別集会でのミニストリーダイジェスト通読の負担を受けて、5/10(火)の祈り集会からミニストリーダイジェストの奉仕もしくは福音の内容から約6ページを追求することになりました。
- (b) ミニストリーダイジェストを定期購読していない兄弟姉妹はこの機会にぜひ申し込んでください。
- (c) 今回の本は6週の内サムエル記の残りの3メッセージ10~12を用いるので、定価880円のところを今回は特別に500円で販売します。

#### 3. 姉妹集会:

5/11(水)の姉妹集会は、GWで使用したリジョイスガーデンを掃除しに行きます。  
各集会所9:30出発、昼食後下山します。

#### 4. メモリアルデー特別集会:

6/3(金)19:00~ M1  
6/4(土)10:00~ M2, 19:00~ M3  
6/5(主)10:00~ M4, 19:00~ M5  
6/6(月)19:00~ M6

#### 【Zoom ID】:

日・英: 851 2479 8841

中: 817 1263 4385

手話: 564 343 1436

※パスワードは共通で31です。

#### 5. 姉妹特別集会:

6/17(金)10:00-12:00 集会1  
13:30-15:30 集会2  
6/18(土)10:00-12:00 集会3

#### 6. リー全集通読:

毎週月~金9:30-10:00, 21:30-22:00  
毎週土 7:30-8:00

#### 7. 聖書通読: 今週は通読表の20週目です。